

平成28年度事業報告

はじめに

平成28年度は、4月に障害者差別解消法が施行され障害福祉事業を運営する当法人にとって、追い風となって事業を推進するにあたり良い環境となりつつある。しかしながら、世間一般ではこの法律の認知度は低く知っている人はごくわずかであり、中身まで理解している人は、さらに少ないのが現状である。

事業計画で掲げた「藤枝市地域活動支援センターきずな」の実績の検証と利用者のニーズを考慮して、藤枝市の事業者応募に申請し藤枝市より引き続き運営することの指名を受けた。運営する課題について藤枝市とこれからも協議と連携を図らなければならない。仮称藤枝第三心愛事業所の設置準備年で検討会を精力的に行ったが、計画を具体化するに至らず、設置する方向性だけの計画で年度を終えており、平成29年度より導入される社会福祉法人制度改革の社会福祉充実計画と重ね合わせながら、検討しなければならない。

中長期計画の3年目の見直しの年度であり、工程表計画の項目の見直しを行った。項目の見直しは、項目を絞ることで計画の実施を確かなものにするためである。

1. 法人

仮称藤枝第三心愛（定員20名 就労継続支援B型14名・生活介護6名）開設新規事業検討は、運営会議で議論し評議員会・理事会へ提案検討した。移転した藤枝第一助産院（青葉町4丁目）の物件を取得し内部改装する予定で、地元町内会に2回の説明会を実施（藤枝市自立支援課職員も同席）物件取得する前に念のために建物耐震診断を耐震診断建築士に調査依頼した結果、大規模地震が起きた場合には倒壊するという極めて厳しい診断結果が示され運営会議で議論した結果、藤枝第一助産院の物件取得は諦めることになる。

その後運営会議で引き続き新規事業のハード面（建物・土地）を選定する議論を重ねる。場所としては、藤枝市の駅南青島地区で選定することで意見が一致し、コンビニの跡物件、物販店の跡物件、レストランの跡物件、眼科医院の跡物件等候補に挙がるが、建物仕様、近隣の交通事情、敷地内の駐車場確保の問題等々で候補物件の確定には至らず、29年度運営会議に継続することとなった。

藤枝市より指名された藤枝市地域活動支援センターの運営が、28年度末に終える。平成24年度より実施した藤枝市地域活動支援センターの運営費補助金は、当初年間850万円であったが、地域活動支援センター利用実績や利用者への役割から藤枝市との協議を重ね、平成27年度から、補助金が年間1,000万円と150万円の増額となり、法人負担分が少し軽減された。

平成29年度からの運営について応募するか否か運営会議で議論する。法人が求める

地域活動支援センター（I型）ではないが、利用者が求めている現状等を考慮し応募した結果、引き続き当法人が指名された。その際に地域活動支援センター事業者選定委員会の評価があり、改めて藤枝市と法人の考えを協議が必要であるが、この協議も平成29年度に持ち越された。

中長期計画は3年目の見直し年に検討する運営会議は新規事業を優先課題としたために十分な議論ができず、3本柱「利用者支援の充実」「地域福祉」「人材育成」は変わらないが、課題項目を、30項目から14項目へ整理し、計画を確実に実施できるように行った。

① 理事会の開催

- | | | |
|--------|-------------------------------------|-----------|
| 第1回理事会 | 平成28年 4月13日 | 理事6名 監事2名 |
| | 新規事業の件（物件見学） | |
| | 規程変更（経理規程）の件 | |
| | 報告事項（経理処理）の件 | |
| 第2回理事会 | 平成28年 5月13日 | 理事5名 監事2名 |
| | 平成27年度事業報告の件 | |
| | 平成27年度決算報告の件 | |
| | 平成27年度監事監査報告の件 | |
| | 社会福祉法人改正法（組織改革）の件 | |
| | 報告事項（新規事業に関する地元町内会）（会計処理）の件 | |
| 第3回理事会 | 平成28年 9月26日 | 理事5名 監事2名 |
| | 基本財産（新規事業）の件 | |
| | 平成28年度第一次資金収支補正予算案の件 | |
| | 規程変更（給与規程・パートタイマー就業規則・マイナンバー取扱規程）の件 | |
| | 藤枝市地域活動支援センター応募の件 | |
| 第4回理事会 | 平成28年12月16日 | 理事5名 監事2名 |
| | 平成28年度中間監事監査報告の件 | |
| | 平成28年度中間事業報告及び第二次資金収支補正予算案の件 | |
| | 定款変更の件 | |
| | 規程変更の件（役員退任慰労金支給規程・経理規程・旅費規程） | |
| | 報告事項 ①運営会議報告（新規事業・グループホーム） | |
| | ②理事長専決事項（経理処理科目間流用） | |
| 第5回理事会 | 平成29年 2月22日 | 理事4名 監事2名 |
| | 評議員・選任解任委員会（運営細則・委員候補者） | |
| | 評議員候補者選任の件 | |

規程変更の件（給与規程）

平成 28 年度第三次資金収支補正予算案の件

報告事項 理事長専決報告（資金貸付・防犯カメラ設置工事・予備費の使用）

第 6 回理事会 平成 29 年 3 月 22 日 理事 5 名 監事 2 名

藤枝市実施指導監査結果の件

評議員選任の件

退職職員慰労金の件

平成 28 年度第三次資金収支補正予算案の件

平成 29 年度事業計画案及び予算案の件

苦情解決第三者委員選任の件

平成 29 年度事業所管理者（施設長）の件

規程変更（監事監査実施規程・役員報酬に関する規程・就業規則・給与規程）

②評議員会の開催

第 1 回評議員会 平成 28 年 4 月 13 日 評議員 10 名 監事 2 名

新規事業の件（物件見学）

規程変更（経理規程）の件

報告事項（経理処理）の件

第 2 回評議員会 平成 28 年 5 月 13 日 評議員 9 名 監事 2 名

平成 27 年度事業報告の件

平成 27 年度決算報告の件

平成 27 年度監事監査報告の件

社会福祉法人改正法（組織改革）の件

報告事項（新規事業に関する地元町内会）（会計処理）の件

第 3 回評議員会 平成 28 年 9 月 26 日 評議員 11 名 監事 2 名

基本財産（新規事業）の件

平成 28 年度第一次資金収支補正予算案の件

規程変更（給与規程・パートタイマー就業規則・マイナンバー取扱規程）の件

藤枝市地域活動支援センター応募の件

第 4 回評議員会 平成 28 年 12 月 16 日 評議員 10 名 監事 2 名

平成 28 年度中間監事監査報告の件

平成 28 年度中間事業報告及び第二次資金収支補正予算案の件

定款変更の件

規程変更の件（役員退任慰労金支給規程・経理規程・旅費規程）

報告事項 ①運営会議報告（新規事業・グループホーム）

②理事長専決事項（経理処理科目間流用）

第5回評議員会 平成29年 3月22日 評議員11名 監事 2名
平成28年度第三次資金収支補正予算案の件
平成29年度事業計画案及び予算案の件
苦情解決第三者委員選任の件
平成29年度事業所管理者（施設長）の件
規程変更（監事監査実施規程・役員報酬に関する規程・就業規則・給与規程）
理事選任の件

③監事監査の実施

第1回監事監査 平成28年 5月20日 監事2名 理事長 松下理事 各管理者
平成27年度業務監査
平成27年度会計監査

第2回監事監査 平成28年11月17日 監事2名 松下理事 各管理者
平成28年度中間業務監査
平成28年度中間会計監査

④法人監査の実施

平成28年11月15日 藤枝市福祉政策課
松下理事 監事2名 各管理者
平成27年度及び平成28年10月までの法人事業、会計

⑤運営会議

第1回運営会議 平成28年 4月28日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 柴山 星崎
新規事業の件
各事業所現状報告（会計）
監事監査研修報告

第2回運営会議 平成28年 6月 8日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
マイナンバー取扱規程の件
青葉町南町内会住民説明会の件
各事業所現状報告

第3回運営会議 平成28年 6月30日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
新規事業の件（住民説明会・公的補助金・融資）
社会福祉法人制度改革の件
各事業所現況報告

- 第4回運営会議 平成28年 7月29日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 星崎
新規事業の件（青葉町南町内会住民説明会報告・施設整備補助金申請
のヒヤリング報告・都市計画法第43条申請・資金融資先の確認）
社会福祉法人制度改革（定款準則、評議員選任・解任委員会）
監事提案の件（中長期計画）
人権委員会
- 第5回運営会議 平成28年 8月30日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
新規事業の件（売主の意向、融資先の確認、補助金申請の確認）
社会福祉制度改革の件
各事業所現況報告の件
中長期計画の件
- 第6回運営会議 平成28年 9月20日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
新規事業の件（物件購入）
給与規程の件（福祉・介護処遇改善手当）
監事提案の件
- 第7回運営会議 平成28年10月26日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
新規事業の件
グループホーム用物件の件
地域活動支援センター応募の件
社会福祉施設防犯対策施設整備費補助金の件
- 第8回運営会議 平成28年11月30日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
新規事業の件
藤枝市相談事業所応募の件
藤枝市法人監査の件
各事業所報告
- 第9回運営会議 平成28年12月28日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
新規事業の件
定款・役員報酬の件
藤枝市相談事業所応募の件
グループホームの件

倫理綱領の件

第10回運営会議 平成29年 1月31日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
評議員選任・解任委員会運営細則及び委員候補の件
給与規程の件
監事提案の件
事業所報告（藤枝第二心愛）

第11回運営会議 平成29年 2月22日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
新規事業の件
藤枝第二心愛平成29年度よりの管理者の件
平成29年度からの運営会議の件

第12回運営会議 平成28年 3月15日 理事長 松下理事 青地理事 小野理事
四ノ宮監事 高橋監事 村田顧問 大石 柴山 星崎
藤枝市指導監査結果の件
平成29年度施設長人事の件
規程変更の件（監事監査実施規程・役員報酬等に関する規程）
中長期計画の検証
平成28年度資金収支計算書第三次補正予算案の件
平成29年度事業計画案及び予算案の件
社会福祉法人制度改革の件（社会福祉充実計画）

⑤苦情解決委員会

平成28年 3月14日（火）藤枝第一心愛にて会議を開催
第三者委委員 松岡、向島 松下理事 各事業所責任者、担当者
藤枝第一心愛 町内会から利用者の行動に関する苦情（1件）
利用者から職員の話の内容についての苦情（1件）
利用者から他利用者への苦情（1件）
藤枝第二心愛 他利用者に対する不満（2件）、相談15件（作業、病気、生活、金銭）
グループホームおかべ 下の階の人から足音が気になるという苦情（1件）
地域活動支援センターきずな 特になし

研修

監事監査研修会 県、県社協主催 平成28年4月15日
グランシップ 監事 四ノ宮、高橋
4月17日
グランシップ 戸塚理事長 大石 星崎
社会福祉制度改革セミナー 県経営協主催 平成28年11月28日

⑦課題（目標）に対する取り組み状況

- ・社会や地域の様々な福祉需要に迅速にかつきめ細かく応えていくこと
相談支援事業所及び精神科医療機関と連携して、福祉サービスを受入れ提供した。
- ・地域のセーフティネットの担い手となる社会福祉としての使命
利用者が感じる生活のしづらさ、問題解決のため法人として対処し、特に地域活動支援センターは、少ない補助金運営のなか利用者にとって、存在意識がおける場所の提供をして福祉増進に寄与した。
- ・法令順守の徹底、説明責任の完遂、組織統合の確立、経営責任の明確化の深化
理事長が中心となり、実行し単年度で完了することなく次年度以降も継承していく。
- ・継続的な事業を行うための財源の確保（収入と経常経費の関係）
障害者総合支援法における収入は、就労系2事業所で目標工賃加算の要件を満たしておらず不支給となる。藤枝第一心愛は就労移行支援事業所の利用者減の（年間平均1.4人）影響等で予算より大幅な減収となる。藤枝第二心愛は利用者増により予算以上の収入を確保する。地域活動支援センターきずな・相談室きずなは、相談事業が減収、また、内容充実するためにパートタイマー職員の常勤職員への変更により人件費が増額しマイナス決算になる。グループホームは前年並みを推移している。
- ・新規事業への具体的計画立案
運営会議中心で議論を繰り返したが、就労継続支援B型・生活介護事業（定員20名）を設置する方向性で具体化していない。
- ・職員の育成と人材の確保
職員の確保は達成できておらず、職員育成として、行政及び社会福祉協議会等が開催する研修会に事業所ごとに参加する。
- ・求められる福祉専門職としての職員研修
行政及び社会福祉協議会等が開催する研修会に事業所ごとに参加する。法人独自で開催する専門職研修は、未達成
- ・運営事業所の検証（地域活動支援センター・相談事業所・就労移行支援事業所）
地域活動支援センター・相談事業所は運営会議で検証、就労移行支援事業所は未達
- ・災害に対する備えの強化
自然災害に対する取組みは、行政が主導する風水害研修に参加、火災避難訓練は各事業所で定期的実施する。不審者に対する防犯対策は、補助金を活用して防犯カメラを藤枝第一心愛・藤枝第二心愛で設置する。4事業所で警備会社と契約（セコム）
- ・ホームページ等、広報誌を活用した広報活動
広報誌は2回発行する。ホームページは、必要最低限の情報提供しかできていない。

II 各事業所報告

1 藤枝第一心愛 多機能型事業所

①事業の種類

就労継続支援 B 型事業所（定員 14 名）

就労移行支援事業所（定員 6 名）

②利用者の状況

平成 28 年 4 月 1 日には、就労継続支援 B 型登録利用者 22 名（男性 18 名、女性 4 名）就労移行支援登録利用者 2 名（男性 2 名）の 24 名が在籍している。年度末の 3 月 31 日には、就労移行支援 1 名就労継続支援 B 型 25 名（男性 20 名、女性 5 名）の登録利用者が在籍する。就労移行支援の利用者動向は、年度初めの 2 名のうち、1 名は暫定支給期間を終えた後に就労継続支援 B 型への利用となり、1 名は、3 カ月のトライアル雇用を経て、一般就労へとつながった。5 月に利用を開始した 1 名は、10 月より障害者訓練校へ通い卒業後利用を中止する。また、就労継続支援 B 型利用者のうち 1 名（女性）が 2 月に利用変更する。3 月末日の利用者の障害種別は、精神がい患者 17 名、知的障がい者 5 名、発達障がい者 2 名の登録者である。

就労移行支援利用者実績 年間平均利用者数 1.2 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所 日数	20	19	22	20	20	20	20	20	19	19	20	22
登録 者数	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	2	2
延利 用者	36	38	34	17	17	20	15	18	16	18	31	21
平均 利用	1.8	2	1.5	0.8	0.8	1	0.8	0.9	0.8	0.9	1.6	0.9

就労継続支援利用者実績 年間平均利用者数 16.5 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所 日数	20	19	22	20	20	20	20	20	19	19	20	22
登録 者数	22	21	21	22	22	21	22	22	23	23	23	23
延利 用者	324	298	344	312	330	317	337	318	349	336	341	387
平均 利用	16.2	15.7	15.6	15.6	16.5	15.8	16.8	15.9	13.9	18.3	17	17.5

月別サービス費収入 31,882,191 円

月	就労継続支援 B 型		就労移行支援		合計
	述人数	金額	述人数	金額	金額
4	324	2,360,362 円	36	322,990 円	2,683,352 円
5	298	2,174,990 円	38	315,854 円	2,490,844 円
6	344	2,513,458 円	34	295,559 円	2,809,017 円
7	312	2,278,261 円	17	142,992 円	2,421,253 円
8	330	2,721,385 円	17	140,386 円	2,861,771 円
9	317	2,318,532 円	21	175,375 円	2,493,907 円
10	337	2,467,208 円	15	123,865 円	2,591,073 円
11	318	2,308,223 円	18	148,123 円	2,456,346 円
12	349	2,564,162 円	16	130,634 円	2,694,796 円
1	336	2,457,939 円	18	148,123 円	2,606,062 円
2	341	2,466,780 円	31	292,863 円	2,759,643 円
3	387	2,830,812 円	21	183,315 円	3,014,127 円

⑤具体的なサービス内容

生産活動の機会の提供

ア 事業所での作業活動を通じて、作業技術の習得、就労への心構え、基礎体力の増強等、労働安全衛生の習得を身につける支援を提供した。

イ 生産活動で得た売上より経費を差引いた金額を工賃の配分基準に則って工賃を毎月支給し、他に期末手当 2 回支給した。

その他の活動の提供

ア 社会人として必要な生活習慣が身につくようにあらゆる機会を通じて、声かけ等の支援をした。

イ 健康保持に留意し医療機関と連携し、服薬管理の声かけや健康診断、歯科検診、レントゲン撮影を希望者に実施した。

ウ 心身の健康を保つためにスポーツや朝礼後のウォーキング実施の機会を提供し、市障害者スポーツ大会へ参加した。

エ 個々の状況に応じた個別支援計画を作成し、三者面談の実施と支援計画の実践確認のために定期的な評価と見直しの支援計画を作成した。

就労移行支援の提供

ア 施設外支援を通じて就労意欲を高めた。

イ 障害者雇用のための企業合同面接会への参加やハローワークの求人票やオールしずおかからの求人情報を提供し、希望者には就職実習につなげ、就職へ

の支援をした。

事業所での生産活動

ア 下請事業

ニシダ株式会社 洗濯ハンガーの制作
株式会社 永幸 食品用紙筒の底板はめ
アイテック株式会社 DVDの解体
沖友 商品（もずく）のラベル貼り
小澤人形店 人形部材の下ごしらえ
前田産科婦人科医院 庭の手入れ、清掃
甘信堂 飴、キャンディの計量包装

イ 受託事業

受注なし

ウ 自主事業

マドレーヌ 惣菜パンの製造販売 もずくの販売

下請事業収入 4,040,284 円

相手先	売上金額
ニシダ株式会社	449,988 円
株式会社 永幸	938,079 円
アイテック株式会社	1,817,917 円
沖友	25,496 円
小澤人形店	36,552 円
サンワ	6,489 円
前田産科婦人科医院	373,786 円
甘信堂	239,284 円
NSM	42,822 円
鈴紀・その他	62,983 円
個人宅草取	10,888 円
心愛会古紙回収	36,000 円

自主事業収入 2,049,150 円

パン	1,404,940 円
マドレーヌ	408,080 円
もずく・他	236,130 円

就労支援事業支出 5,875,506 円

科目	合計	就労継続支援 B 型	就労移行支援
材料費	937,911 円	656,538 円	281,373 円
利用者工賃	4,403,572 円	4,159,127 円	244,445 円
経費	534,023 円	391,028 円	142,995 円

⑥ 屋外行動レクリエーション等

- 4月11日（月）蓮華寺池公園 花見
- 6月29日（水）ランチ外食 静岡市すたみな太郎
- 9月 4日（日）心愛会バザー
- 10月22日（土）藤枝市障害者スポーツ大会 体育館
- 11月26日（金）藤枝市 ボウリング
- 12月22日（木）クリスマス会 藤枝第一心愛
- 2月22日（水）ランチ外食 静岡市すたみな太郎
- 毎月25日をカレーの日として昼食提供

⑦ 防災・避難訓練

- 5月 6日（金）地震想定での避難訓練
- 7月25日（月）地震想定での避難訓練
- 9月 7日（水）地震想定での避難訓練
- 11月14日（月）火災想定での避難訓練
- 2月27日（月）火災想定での避難訓練

⑧職員配置

就労継続支援B型

職種	常勤	非常勤
管理者	1名	-
サービス管理責任者	1（兼）	-
職業指導員	-	3名
生活支援員	1名	-
合計	3名	3名

就労移行支援

職種	常勤	非常勤
管理者	1名	-
サービス管理責任者	1（兼）	-

職業指導員	1名	-
生活支援員	-	1名
就労支援員	1名	
合計	3名	1名

⑧会議

職員会議（毎月）・朝の打合せ

⑨研修

県社協 監事監査研修 4月18日 静岡市 星崎
 静岡県 精神保健福祉業務基礎研修 5月31日 田代 静岡市
 静岡県 // 6月6日 静岡市 田代
 静岡県 支援者のための成年後見制度活用講座 6月14日 静岡市 星崎
 静岡県 社会福祉士に求められていることは 6月25日 静岡市 星崎
 静岡県 食品表示責任者養成講習会 6月28日 藤枝市 浅原
 静岡県 チーム支援会議 7月22日 島田市 星崎
 静岡県 福祉サービス苦情解決研修会 8月29日 静岡市 星崎
 静岡県 処遇改善加算のしくみ 9月12日 静岡市 星崎
 静岡県 会計研修（決算の注意点） 11月14日 静岡市 田代
 静岡県 チーム支援会議 会社見学 1月27日 焼津市 浅原
 静岡県 行政集団指導 1月27日 静岡市 星崎
 県社協 権利擁護の普及のための講演会 焼津市 星崎
 静岡市 会計基準による決算実務研修 2月15日 静岡市 田代
 藤枝市 水害・土砂災害等への備えに関する要配慮者利用施設の説明会
 2月23日 藤枝市 星崎
 静岡県 社会福祉施設運営管理研修会 3月2日 静岡市 星崎

3 グループホームおかべ

①事業の種類 共同生活援助（定員4名）

藤枝市岡部町三輪 685-1 県営やよい団地 305号 408号

②検証 利用者が、地域社会の中で一般的な日常生活を送れるよう相談及び支援を行うと共に共同生活習慣を身につける支援を行った。

③定員 4名

利用者の状況 精神障害者3名 知的障害者1名

年間平均利用者 4人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

④サービス費収入 4,646,524円

月	述日人数	金額	月	述日人数	金額
4	119	384,963円	10	123	396,555円
5	117	379,352円	11	120	387,974円
6	120	387,974円	12	119	384,943円
7	124	399,463円	1	121	390,862円
8	120	387,954円	2	112	364,750円
9	119	385,066円	3	123	396,668円
半期計	719	2,324,772円	半期計	718	2,321,752円
			合計	1,437	4,634,963円

⑤具体的なサービス内容

自信を持って地域生活が送れるよう、社会生活に必要な知識や社会生活習慣について、助言や支援を行った。

個々人の特性に配慮した個別支援計画を作成し、定期的に見直しと評価を行い、継続して支援を行った。

地域の町内会へ加入し、地域の清掃活動等に参加を促し、地域交流の機会を行った。

防災対策は、セコムへの業務委託を継続して行った。

⑥職員体制

職種	非常勤
管理者	1名（兼）
サービス管理責任者	1名（兼）
世話人	2名